marantz®

CD Player

CD5004

取扱説明書

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

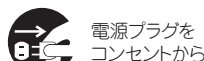
絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

高温注意

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意
禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂･液漏れにより､火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意
指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

本機の特長

マランツオリジナル HDAM®SA2 採用
本機には上位モデルのスーパーオーディオ CD プレーヤーやアンプで実績のある HDAM®SA2 を高速バッファーアンプとして搭載しました。
クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。

シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4392 を搭載
高い評価をいただいているマランツのスーパーオーディオ CD プレーヤーと同様、音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには、シーラスロジック製の 192kHz/24bit 対応品である、CS4392 を採用しました。DVD オーディオにも対応できる性能を持つ高性能 D/A コンバーターです。（本機は音楽 CD および MP3/WMA ファイルの再生のみに対応しています。）

Audio EX 搭載
より高音質でお楽しみいただくために、ピッチコントロール、デジタルアウトおよび表示機能をオフにする設定の Audio EX モードを搭載しました（☞17 ページ）。

高品位ヘッドホン回路搭載
高速電流バッファーアンプを搭載した高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聞く場合などに高音質で楽しむことができます。

MP3 および WMA ファイルの再生に対応
CD-R や CD-RW ディスクに記録した MP3 ファイルや WMA ファイルを再生することができます（☞20 ページ）。

ピッチコントロール機能搭載（音楽 CD のみ）
再生スピード（ピッチ）を± 12 段階の範囲で変えることができる「ピッチコントロール機能」を搭載しました（☞17 ページ）。

クイックリプレイ機能搭載（音楽 CD のみ）
再生中、ワンタッチで任意に設定した時間（設定範囲：5～60 秒）だけ前に戻って再生する「クイックリプレイ機能」を搭載しました。
再生中の曲を、少し前に戻して聴き直すことができます（☞19 ページ）。

CD テキスト表示対応
CD テキストとは従来の音楽 CD にアルバム名や曲名などのテキスト情報を記録した音楽ディスクです。以下のようなロゴが付いた CD が対応しています。

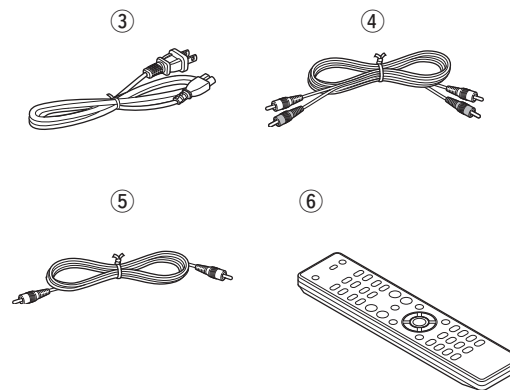
これらのテキスト情報は、従来の音楽 CD では使用されていなかった部分に記録されています。
本機ではディスクに記録されたテキスト情報を見ることができます。（英数字のみに対応しています。）

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

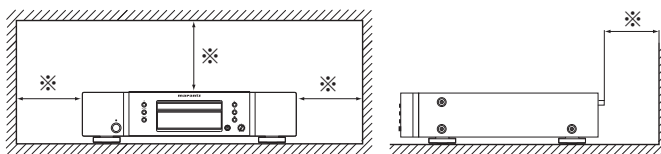
付属品について

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）............1
② 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内............1
③ 電源コード【本機専用】（長さ：約1.8ｍ）............1
④ 音声ケーブル（赤・白）............1
⑤ リモート接続ケーブル（オレンジ）............1
⑥ リモコン（RC002CD）............1
⑦ 単4形乾電池............2
⑧ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）............1

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。

※ 30cm 以上離す

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音(ノイズ)が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れた位置でご使用ください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、やわらかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してから移動してください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用CD
本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

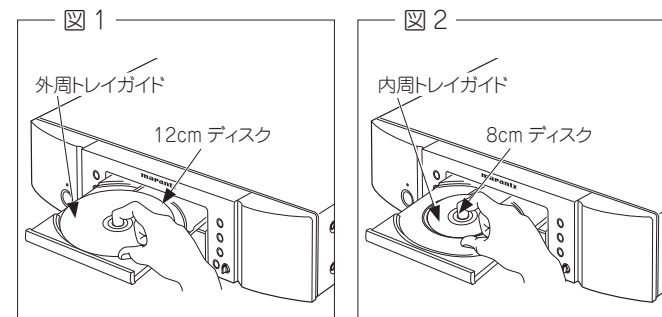
- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ファイナライズとは？
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図 1)に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド(図 2)に合わせて、水平に載せてください。

- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- ディスクトレイに DVD など本機が対応していないディスクを入れると、ディスクトレイの開閉が 1 分程度できなくなります。このような場合は、ディスプレイに“Error”を表示しますので、その後 ⏏ボタンを押してください。
- また、MP3 や WMA 以外のファイルのみ入っているディスクをディスクトレイに入れると、“No File”を表示します。

ご注意

- 電源をオフにしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

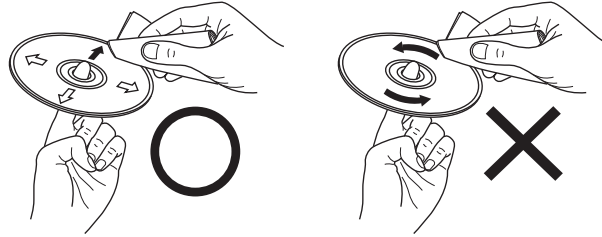
ディスクの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

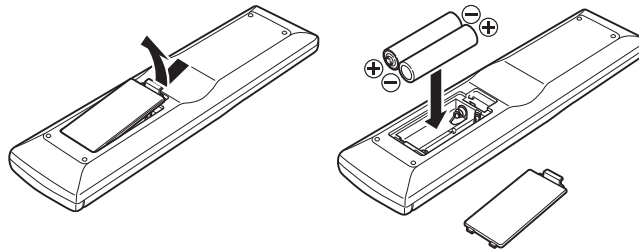
ご注意

レコードスプレーや帯電防止剤、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

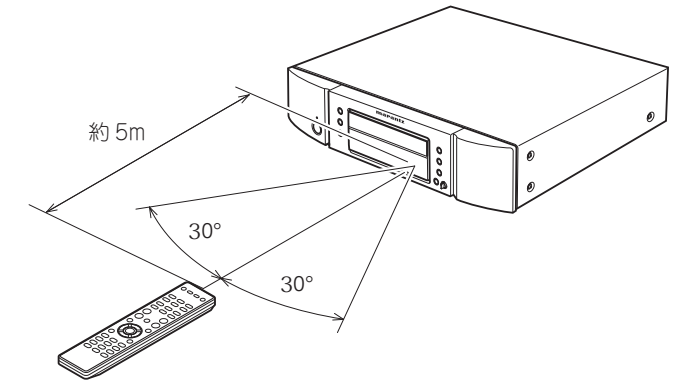
① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示とおりに入れる。

③ 裏ぶたを元のとおりにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池をいれるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。

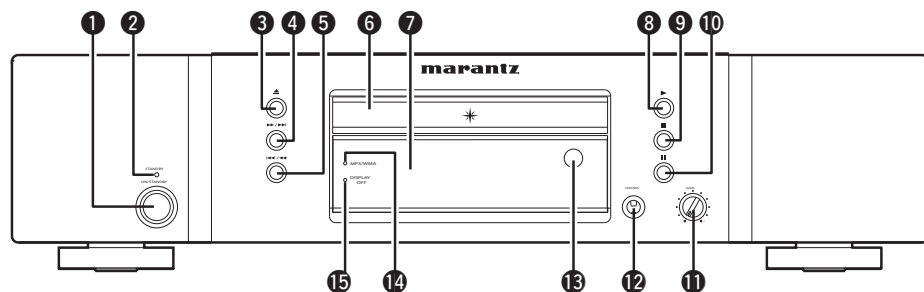
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。

フロントパネル

❶電源スイッチ
（ON/STANDBY）……………………（11）

❷電源表示（STANDBY）……………（11）
本機の状態により次のように変わります。
- 電源オン時 ……………………消灯
- 電源スタンバイ時 ……………赤色

❸ディスクトレイ開閉ボタン（▲）……（11）

❹スキップ/サーチボタン
（▶▶, ▶▶I）……………………（11）

❺スキップ/サーチボタン
（I◀◀, ◀◀）……………………（11）

❻ディスクトレイ……………………（11）

❼ディスプレイ………………………（8）

❽プレイボタン（▶）………………（11）

❾ストップボタン（■）……………（11）

❿ポーズボタン（II）………………（11）

⓫ヘッドホン音量調整つまみ
（LEVEL）…………………………（13）

⓬ヘッドホン端子（PHONES）……（13）

⓭リモコン受光部……………………（7）

⓮MP3/WMA表示……………………（21）

⓯ディスプレイオフ表示
（DISPLAY OFF）…………………（12）

ディスプレイ

❶ポーズ表示（II）
一時停止時に点灯します。

❷プレイ表示（▶）
再生時に点灯します。

❸ディスク表示（DISC）
ディスクの目次情報（TOC）を読み込んでいるときに点滅します。

❹総曲数表示（TTL）
ディスクに記録されている総曲数を表示しているときに点灯します。

❺ランダム表示（RNDM）
ランダム再生時に点灯します。

❻曲番表示（TRK）
再生中の曲番を表示しているときに点灯します。

❼プログラム表示（PROG）
プログラム再生時に点灯します。

❽A-B間リピート表示（A-B）
A-B 間リピート再生時に点灯します。

❾リピート表示（RPT）
リピート再生時に点灯します。

❿1曲リピート表示（1）
1 曲リピート再生時に点灯します。

⓫ピッチコントロール表示（PITCH）
ピッチコントロール再生時に点灯します。

⓬エディット表示（EDIT）
エディットモード中に点灯します。

⓭ピーク表示（PEAK）
ピークサーチ中に点灯します。
ピークサーチ再生中も点灯します。

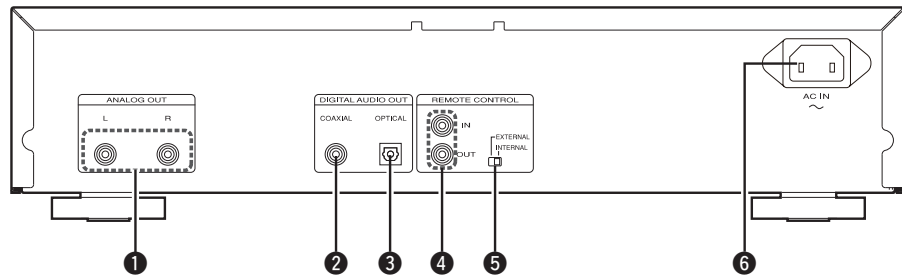
⓮総時間表示（TTL）
総残り時間や、総プログラム時間を表示するときに点灯します。

⓯時間表示（TIME）
経過時間などを表示中に点灯します。

⓰ミュージックカレンダー（1〜20, ▶）
ディスクに記録されている曲番、再生中の残りの曲番、プログラム再生でプログラムされた曲番を表示します。
（音楽 CD のみ）

⓱インフォメーションディスプレイ
再生するディスクの時間情報、テキスト情報、設定メニューなどを表示します。

⓲テキスト表示（TEXT）
CD-TEXT 対応のディスクを入れたときに点灯します。

リアパネル

❶ アナログ音声出力端子
（ANALOG OUT）…………………………（10）

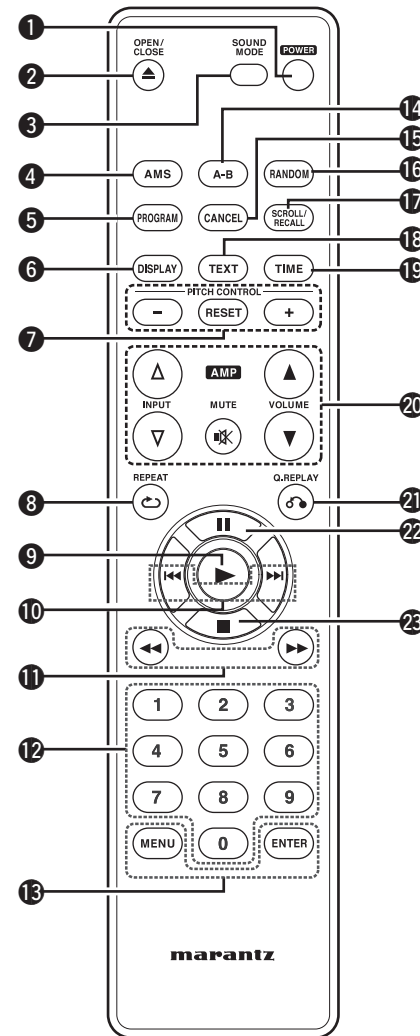
❷ デジタル音声出力端子
（DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL）（15）

❸ デジタル音声出力端子
（DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL）（15）

❹ リモートコントロール入出力端子
（REMOTE CONTROL IN/OUT）……（15）

❺ エクスターナル/インターナルスイッチ
（EXTERNAL/INTERNAL）……………（15）

❻ ACインレット（AC IN）……………………（10）

リモコン

❶ 電源ボタン（POWER）……………………（11）

❷ ディスクトレイ開閉ボタン（▲）………（11）

❸ サウンドモードボタン……………………（17）
（SOUND MODE）

❹ オートミュージックスキャンボタン
（AMS）……………………………………（14, 22）

❺ プログラムボタン（PROGRAM）………（16）

❻ ディスプレイボタン（DISPLAY）………（12）

❼ ピッチコントロールボタン
（PITCH CONTROL −,RESET,+）‥（17）

❽ リピートボタン（REPEAT）……… （13, 21）

❾ プレイボタン（▶）……………………………（11）

❿ スキップボタン
（I◀◀、▶▶I）…………………………… （11, 12）

⓫ サーチボタン（◀◀、▶▶）………… （11, 12）

⓬ 番号ボタン（0〜9）…………………………（12）

⓭ メニュー（MENU）、
エンターボタン （ENTER）………………（17）

⓮ A-B間リピートボタン（A-B）…… （13, 21）

⓯ キャンセルボタン（CANCEL）…………（16）

⓰ ランダムボタン（RANDOM）…… （14, 22）

⓱ スクロール/リコールボタン
（SCROLL/RECALL）……………………（16）

⓲ テキストボタン（TEXT）…………… （12, 21）

⓳ タイムモード切り替えボタン
（TIME）………………………………………（12）

⓴ アンプ用操作ボタン
音量調節ボタン（▲、▼）
入力切替ボタン（△、▽）
ミューティングボタン（MUTE）

㉑ クイックリプレイボタン
（Q. REPLAY）………………………………（19）

㉒ ポーズボタン（❚❚）…………………………（11）

㉓ ストップボタン（■）…………………………（11）

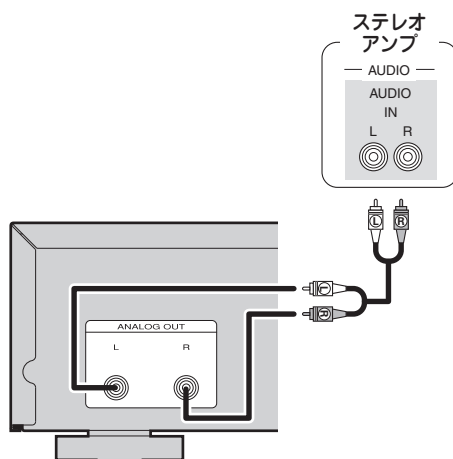
- このリモコンは、マランツ製品のプリメインアンプを操作することができます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

一部操作ができない製品もあります。

基本接続

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとL、ＲとＲを接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。
- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

準備

接続に使用するケーブル

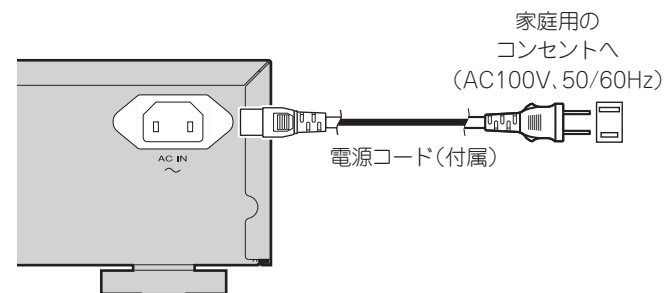
ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル
アナログ接続（ステレオ）

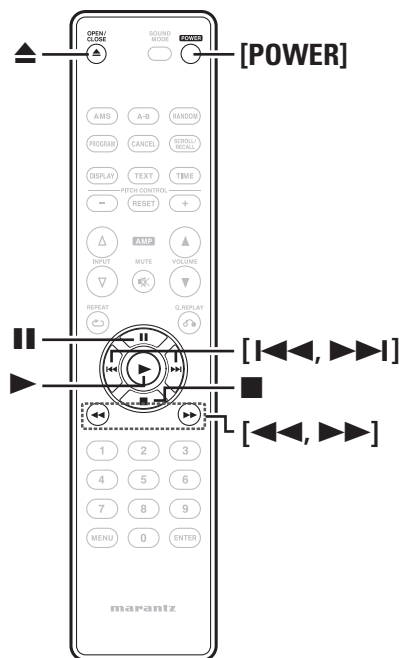
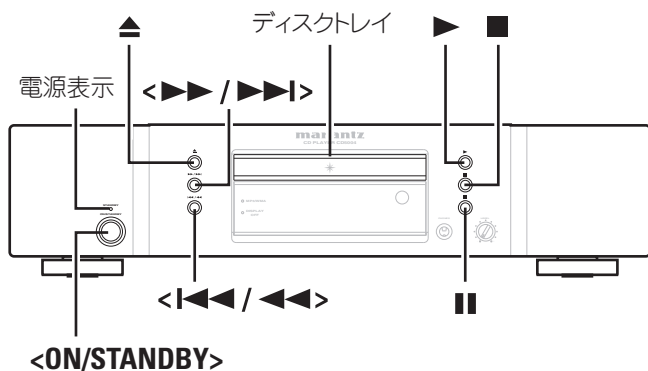
ステレオ音声ケーブル（付属）

アナログ接続

電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

基本操作

準備

電源をオンにする

<ON/STANDBY> または [POWER] を押す。
電源がオンになり、電源表示が消灯します。

電源をスタンバイ状態にする

<ON/STANDBY> または [POWER] を押す。
電源がスタンバイ状態になり、電源表示が点灯します。

電源をスタンバイ状態にする前に、ディスクトレイが完全に閉まっていることを確認してください。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

CD を再生する

1 ディスクを入れる。

- ⏏ を押して、ディスクトレイを開閉します。
- ▶ を押してもディスクトレイを閉じることができます。

2 ▶ を押す。
"▶" 表示が点灯し、再生をはじめます。

- ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生を停止する

■ を押す。

再生を一時停止する

II を押す。

- "II" 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ または II を押してください。

早送り / 早戻し（サーチ）をする

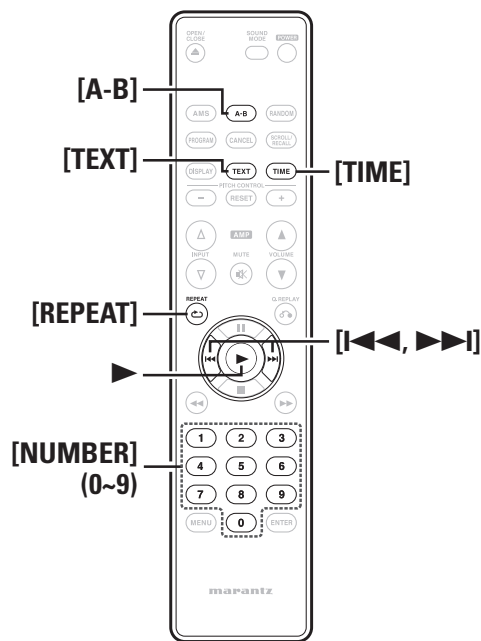
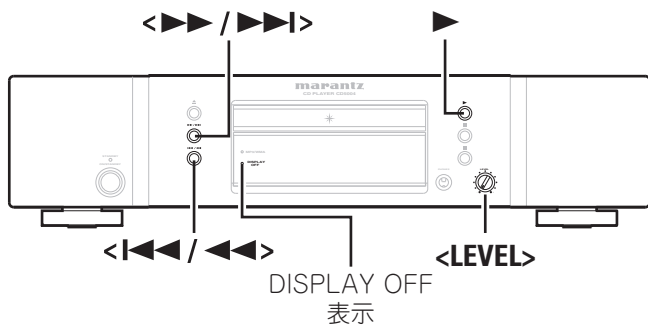
【本体で操作する場合】

再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を長押しする。

- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

【リモコンで操作する場合】

再生中に **[◀◀]** または **[▶▶]** を長押しする。

- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

頭出しをする

【本体で操作する場合】

再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を押す。

- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- **<I◀◀/◀◀>** を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

【リモコンで操作する場合】

再生中に **[I◀◀]** または **[▶▶I]** を押す。

- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- **[I◀◀]** を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

好きな曲を聞く（ダイレクト選曲）

[NUMBER]（**0** 〜 **9**）で曲を選ぶ。

【例】4 曲目　：数字ボタンの **[4]** を押します。
【例】12 曲目　：数字ボタンの **[1]** と **[2]** を続けて押します。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

ディスプレイの表示を消灯する

[DISPLAY] を押す。

DISPLAY OFF 表示が点灯し、ディスプレイの表示を消灯します。

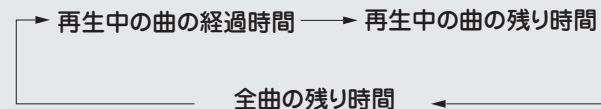
ご注意

停止中はディスプレイの表示を消灯しません。再生中のみ消灯します。

時間表示を切り替える

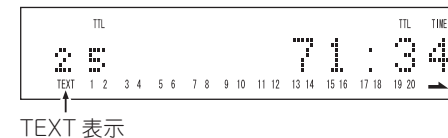
[TIME] を押す。

- ボタンを押すたびに時間表示が切り替わります。

→ 再生中の曲の経過時間 → 再生中の曲の残り時間 → 全曲の残り時間 →

テキスト情報を表示する

CD-TEXT ディスクを読み取ると、ディスプレイの“TEXT”表示が点灯します。

[TEXT] を押すと、CD-TEXT ディスクに収録されているテキスト情報を表示します。

本機は最大 64 文字のテキスト情報の表示ができます。

TEXT 表示

❏再生中

[TEXT] を押すたびに、次のようにテキスト情報を切り替えて表示します。

【例】3 曲目を再生しているとき

CD-TEXT ディスクに収録されているテキスト情報の種類は、ディスクによって異なります。収録されていないテキスト情報は表示しません。

❏停止中

[TEXT] を押すたびに次のようにテキスト情報を切り替えて表示します。

曲のタイトルを表示しているときに ▶ を押すと、その曲の再生をはじめます。

ヘッドホンを使って聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に差し込む。

音量を調整する

<LEVEL> を回す。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押して、リピートモードを選ぶ。

- **[REPEAT]** を押すたびに次のようにリピートモードを切り替えて表示します。

【選択できるモード】

モード	説明
全曲リピート "RPT"	：全曲をくり返して再生します。
1 曲リピート "RPT1"	：1 曲のみをくり返して再生します。
リピート再生オフ（表示なし）	：通常の再生に戻ります。

指定した部分をくり返し再生する（A-B 間リピート再生）

1 再生中に [A-B] を押して、開始点（A）を指定する。

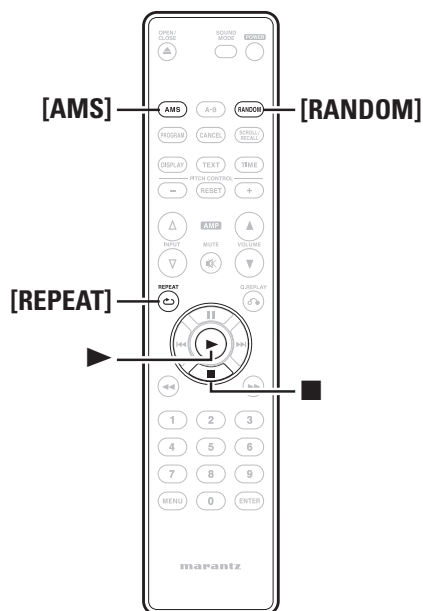
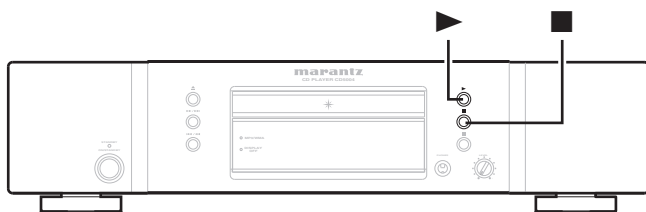
ディスプレイの "A-" 表示が点灯します。

2 もう一度 [A-B] を押して、終了点（B）を指定する。

ディスプレイの "B" 表示が点灯し、A-B 間をくり返し再生します。

- 通常の再生に戻すときは、**[A-B]** を押して "A-B" 表示を消灯させてください。

ご注意

ランダム再生中、A-B 間リピート再生はできません。

順不同に再生する（ランダム再生）

再生中または停止中に [RANDOM] を押す。
ディスプレイの“RNDM”表示が点灯し、ランダム再生をはじめます。

ランダム再生を止める

ランダム再生中に ■ または **[RANDOM]** を押す。
ディスプレイの“RNDM”表示が消灯します。

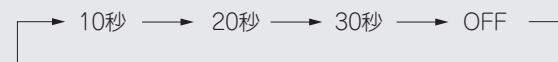
ランダム再生中に **[REPEAT]** を押すと、1 曲または全曲リピートでランダム再生をします。
- 全曲リピート：現在再生中のランダム再生のあとに、違う曲順でランダム再生をします。全曲リピートモードを解除するまでこの動作をくり返します。
- 1 曲リピート：再生中の曲をくり返し再生します。

ご注意
- ランダム再生中は、ダイレクト選曲ができません。
- 電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開いたりすると、ランダムモードを解除します。

聴きたい曲を探す（AMS 再生）

1 曲目から順番にすべての曲の先頭部分を次々に再生します。
聴きたい曲を探すときに便利です。
(AMS 再生 : オートミュージックスキャン再生)

1 停止中または再生中に [AMS] を押す。
ディスプレイの“▶”表示が点滅して、AMS 再生をはじめます。

2 [AMS] を押して、再生時間を設定する。
- **[AMS]** を押すたびに、次のように AMS 再生の時間が切り替わります。

3 聴きたい曲が見つかったら、▶ を押す。
“▶”表示が点灯に切り替わり、通常の再生に戻ります。
- AMS 再生中に **[RANDOM]** を押すと、AMS 再生は解除され、ランダム再生になります。

応用接続

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル

光デジタル接続

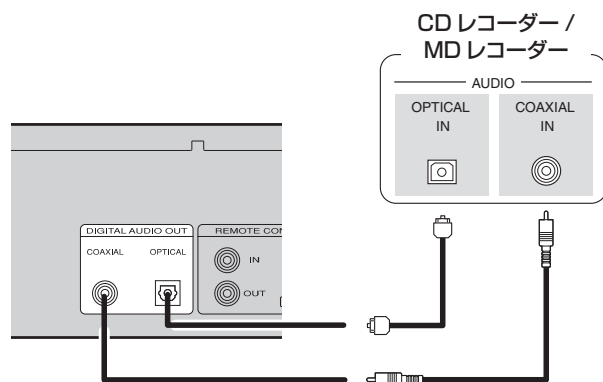
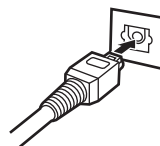
光伝送ケーブル（別売）

同軸デジタル接続

同軸デジタルケーブル（別売）

リモートコントロール接続

リモート接続ケーブル（付属）

デジタル接続

デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売）で接続するとき

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

リモートコントロール端子

本機とマランツ製のアンプを組み合わせて使用するときに、アンプから本機に送られてくる本機の操作信号を受けて本機が動作します。

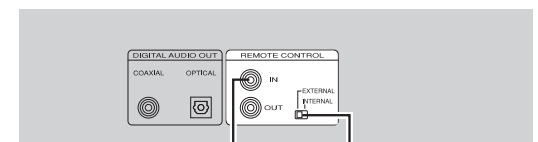
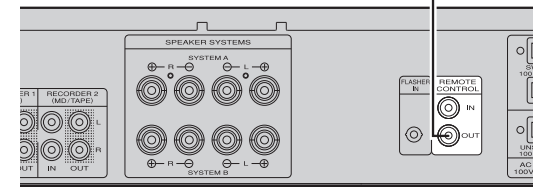
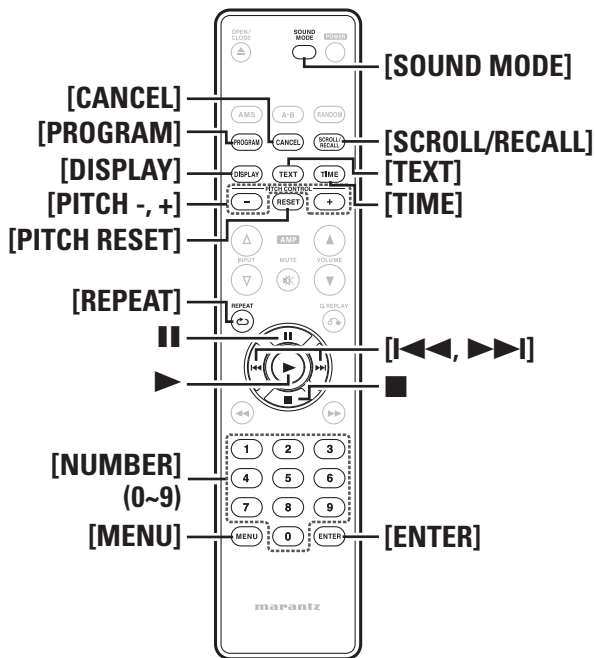
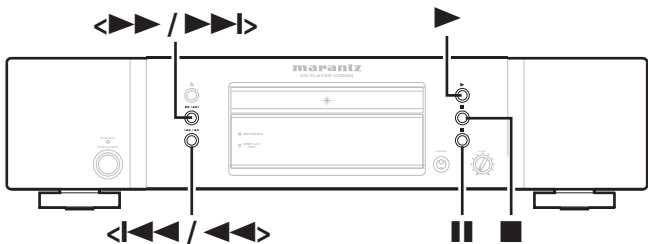
❑接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

❑設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “EXTERNAL” にします。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを接続せずに、本機のみ使用する場合は、スイッチを “INTERNAL” に設定してください。

応用操作

好きな順に再生する（プログラム再生）

1 停止中に [PROGRAM] を押す。
- ディスプレイに“Program” を表示し、プログラム再生モードになります。
- “PROG”表示が点滅します。

2 [NUMBER]（0 ～ 9）または I◀◀、▶▶I を押して、プログラムしたい曲番を選ぶ。

【例】 3 曲目、12 曲目の順にプログラムしたい場合は、
[3] を押したあと、[1] と [2] を続けて押します。

3 ▶ を押す。
プログラムした順番に再生をはじめます。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

聴かない曲をスキップして再生する（デリートプログラム再生）

1 停止中に [PROGRAM] を押した後、[CANCEL] を押す。
- ディスプレイに“Delete Prog.” を表示し、デリートプログラム再生モードになります。
- “PROG”表示が点滅します。

2 [NUMBER]（0 ～ 9）または I◀◀、▶▶I を押して、スキップする曲番を選ぶ。

【例】 3 曲目、12 曲目をスキップする場合は、
[3] を押したあと、[1] と [2] を続けて押します。

3 ▶ を押す。
選択した曲をスキップして再生します。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

プログラムした曲順を確認する

[SCROLL/RECALL] を押す。
- プログラム再生時：プログラムされた順に曲番を表示します。
- デリートプログラム再生時：削除した順に曲番を表示します。

プログラム再生したい曲を追加する

停止中に **[PROGRAM]** を押す。
- “PROG”表示が点滅してから、追加する曲を選びます。

プログラムした曲を取り消す

停止中に **[SCROLL/RECALL]** を押す。
[SCROLL/RECALL] を押して、取り消したい曲を表示させてから **[CANCEL]** を押します。

プログラムした曲をすべて取り消す

プログラム再生中は、■ を 2 回押す。
停止中は、■ を 1 回押す。

- プログラム再生とデリートプログラム再生はそれぞれ最大 30 曲まで設定できます。
- プログラム再生中、またはデリートプログラム再生中に **[REPEAT]** を押すと、選択したリピートモード（1 曲リピートまたは全曲リピート）でプログラム再生をおこないます。
- 1 曲リピート時： 再生中の曲をくり返し再生します。
- 全曲リピート時： 現在再生中のプログラム再生のあとに、プログラムの 1 曲目から再生をします。全曲リピートモードを解除するまでこの動作をくり返します。

ご注意
- MP3 や WMA ファイルはプログラム再生ができません。
- 電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開けたりすると、プログラムモードを解除します。

スピードを変えて再生する（ピッチコントロール再生）

音楽用 CD（CD-DA）の再生中に、再生スピード（ピッチ）を変えて再生することができます。

再生スピードを早くする

[PITCH+] を押す。
- ディスプレイの“PITCH”表示が点灯し、ボタンを押すたびに再生スピードが早くなります（最大＋12 まで）。

再生スピードを遅くする

[PITCH–] を押す。
- ディスプレイの“PITCH”表示が点灯し、ボタンを押すたびに再生スピードが遅くなります（最大－12 まで）。

通常の再生スピードに戻す

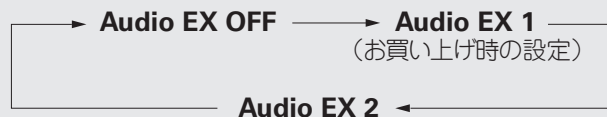
[PITCH RESET] を押す。
- ディスプレイの“PITCH”表示が消灯し、ディスプレイに“Pitch: 0”を表示します。
- もう一度 **[PITCH RESET]** を押すと、設定していた再生スピードに戻ります。

ご注意
- ピッチコントロール機能は、Audio EX の設定が“Audio EX OFF”のときのみ有効です（☞17 ページ）。
- MP3 や WMA ファイルは、ピッチコントロール再生ができません。

音質を設定する（Audio EX）

本機で音質の設定をおこなうことができます。

停止中に [SOUND MODE] を押す。
- ボタンを押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。

→ Audio EX OFF → Audio EX 1（お買い上げ時の設定）→ Audio EX 2 →

サウンドモード	ピッチコントロール再生	デジタル出力	ディスプレイ表示
Audio EX OFF：	できます	あり※ 1 ※ 2	表示
Audio EX 1: “Audio EX OFF”より高音質に再生します。	できません	あり※ 2	表示
Audio EX 2: アナログ出力の音声を最も高音質に再生します。	できません	なし	消灯 （再生中） ※ 3

※ 1 ピッチコントロールの設定が“0”のときのみデジタル信号を出力します。
※ 2 メニューの“Digital Out”の設定（☞19 ページ）を優先します。
※ 3 **[DISPLAY]** を押すと、約 3 秒間ディスプレイを表示します。

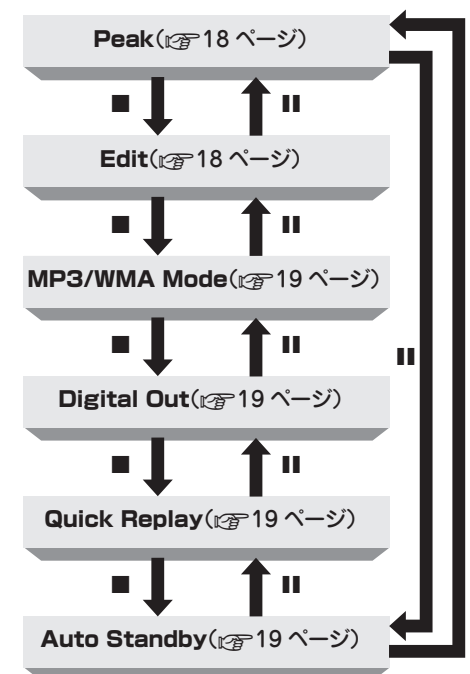
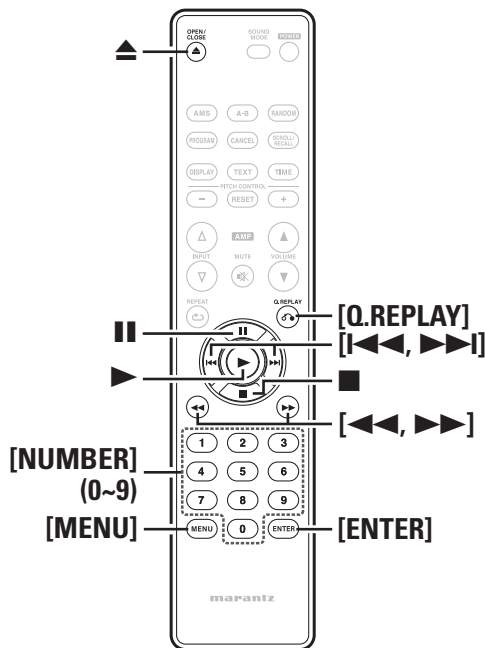
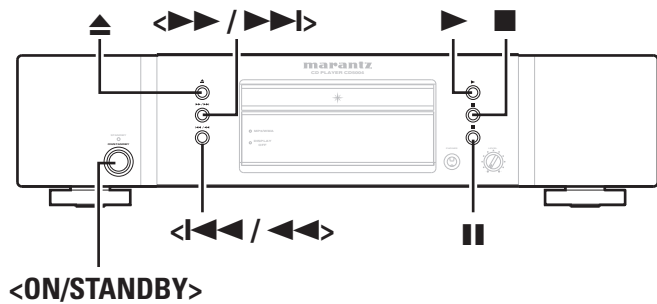
メニュー設定

以下の機能の設定ができます。
詳しくは、各記載ページをご覧ください。

Peak（ピークレベルサーチ）（☞18 ページ）
Edit（エディット設定）（☞18 ページ）
MP3/WMA Mode
（ファイル再生モード設定）（☞19 ページ）
Digital Out（デジタル音声出力設定）（☞19 ページ）
Quick Replay（クイックリプレイ再生）（☞19 ページ）
Auto Standby（オートスタンバイモード）（☞19 ページ）

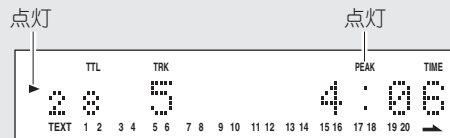
1 停止中に **[MENU]** を押す。

2 ■ または ❚❚ を押して、設定したい項目を選ぶ。

3 **[ENTER]** を押す。

Peak（ピークレベルサーチ）

カセットデッキの録音レベルを調整するときに、ディスクの音量の大きいところで調整すると、録音時の歪みやノイズを避けることができます。本機では、ディスク全体またはプログラムされた曲の音量の比較的大きい位置の検出をおこなうことができます。

1 **“Peak”を選択し、[ENTER] を押す。**

- ディスプレイの“PEAK” 表示が点灯し、ディスクの 1 曲目からピークレベルサーチをおこないます。
- 最後の曲のピークレベルサーチが終わると、音量の比較的大きい位置の前後約 6 秒間を繰り返し再生します。
- この間にカセットデッキの録音レベルを調整してください。（詳しくは、カセットデッキの取扱説明書をご覧ください。）

2 **■ を押して、ピーク部分の再生を停止する。**

ご注意

ディスクには音量の大きい位置が複数あるため、同じディスクでもピークレベルサーチをおこなうたびに、違う位置を検出する場合があります。

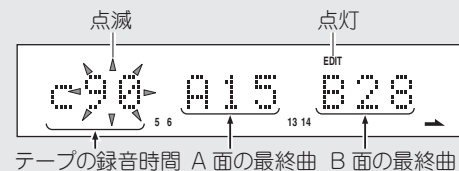
Edit（エディット設定）

ディスクに収録されている曲をテープに録音するときに、テープの長さに合わせて A 面･B 面に曲を振り分けます。このとき、約 4 秒間の曲間を挿入します。

- エディット設定はプログラムモードやデリートプログラムモードでもおこなえます。

1 **“Edit”を選択し、[ENTER] を押す。**

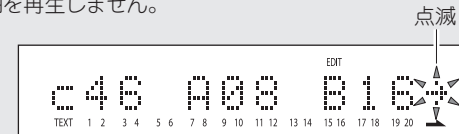
- “ディスプレイの EDIT”表示が点灯し、ディスクに収録されている曲を A 面、B 面に振り分けます。

【例】28 曲入りディスクの場合

この例では、テープの録音時間が 90 分のカセットテープを使用した場合、A 面に 1 曲目から 15 曲目まで、B 面に 16 曲目から 28 曲目までを振り分けていることを表わしています。

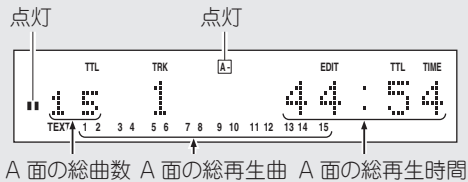
2 **テープの録音時間を設定する。**

- I◀◀、▶▶I を押すたびに、録音時間の設定を 46、54、60、74、90 分に切り替えます。
- ◀◀、▶▶ を押すたびに、1 分ずつ録音時間を変更できます。
- 数字ボタンで設定時間を入力することもできます。
【例】46 分に設定する場合は、**[4]**、**[6]** と押します。

ご注意

B 面の最終曲の右側に“→”が表示された場合は、B 面の最終曲以降の曲を再生しません。

この例では 17 曲目以降は再生しないことを表しています。

3 **[ENTER] を押して、設定を終了する。**

A 面の総曲数 A 面の総再生曲 A 面の総再生時間

ご注意

- エディット設定中は、<■>、<▲>、<ON/STANDBY> のみ操作できます。（リモコンでの操作はできません。）
  これは誤操作による録音ミスを防ぐためです。
- エディット再生中は TEXT 表示をしません。時間表示のみをおこないます。
- Auto Standby モードを“On” に設定した場合、エディット設定中やエディット再生中に停止状態が３０分以上続くと、本機の電源はスタンバイ状態になります。

❑エディット録音

1 **エディットの設定が完了したあと、カセットデッキを録音開始状態にする。**

2 **▶ または ❚❚ を押して A 面の曲を再生する。**
約 4 秒後に再生をはじめます。

- A 面の再生が終了すると、B 面の 1 曲目の先頭で一時停止します。

3 **カセットテープの録音面を B 面に変更し、録音を開始する。**

4 **▶ または ❚❚ を押して B 面の曲を再生する。**
約 4 秒後に再生をはじめます。

- B 面の再生が終了すると、停止してエディット設定を解除します。

エディット録音は、プログラムモードやデリートプログラムモードのときもおこなえます。

MP3/WMA Mode（ファイル再生モード設定）

MP3/WMA ファイルの再生モードを選びます。

1 **“MP3/WMA Mode”を選び、[ENTER] を押す。**

- お買い上げ時の設定は、“Cont. モード” です。

2 **I◀◀、▶▶I を押して、再生モード選ぶ。**
Cont. モード： ディスク内のすべてのファイルを再生します。
Folder モード：選んでいるフォルダ内のファイルを再生します。

- 本機で再生できるファイルは MP3 と WMA です。

3 **[ENTER] を押す。**
設定を保存します。

Digital Out（デジタル音声出力設定）

デジタル音声出力の回路を停止することによって、アナログ音声回路にデジタル音声回路の影響を与えなくします。これにより高音質のアナログ音声を再生できます。

1 **“Digital Out”を選び、[ENTER] を押す。**
ディスプレイに現在の設定されている状態を表示します。

- お買い上げ時の設定は“On” です。

2 **I◀◀、▶▶I を押して、“On”または“Off”を選ぶ。**
Off：デジタル音声出力を停止します。
On：デジタル音声出力を停止しません。

3 **[ENTER] を押す。**
設定を保存します。

Quick Replay（クイックリプレイ再生）

クイックリプレイ再生の操作

再生中に **[Q.REPLAY]** を押すと、設定している時間だけ戻って再生します。

ご注意

- 曲をまたいでクイックリプレイ再生することはできません。
- 再生中のトラックの総時間がクイックリプレイ再生の設定時間より短い場合や、再生時間がクイックリプレイ再生の設定時間より短いときに **[Q.REPLAY]** を押すと、その曲の先頭に戻って再生します。

クイックリプレイ再生の戻り時間の設定

ディスクトレイにディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してから設定してください。

1 **“Quick Replay”を選び、[ENTER] を押す。**
ディスプレイに現在の設定時間を表示します。

Q. Rep: 10Sec

- お買い上げ時の設定は、10 秒です。

2 **I◀◀、▶▶I を押して時間（5 秒～60 秒）を設定する。**

3 **[ENTER] を押す。**
設定を保存します。

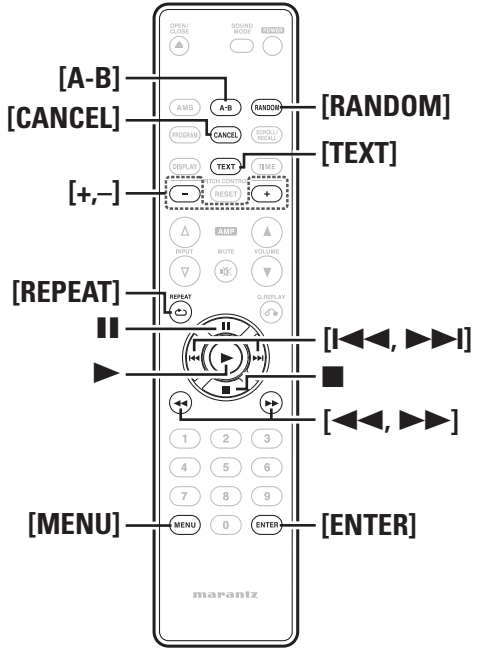
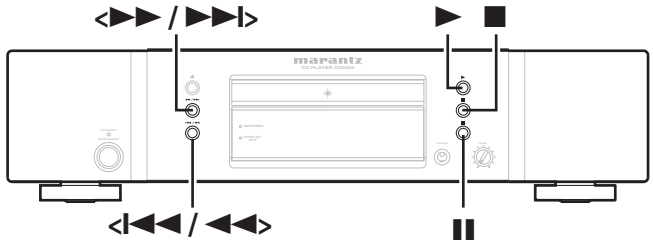
Auto Standby（オートスタンバイモード）

停止状態が 30 分以上続いたとき、本機はスタンバイ状態になります。

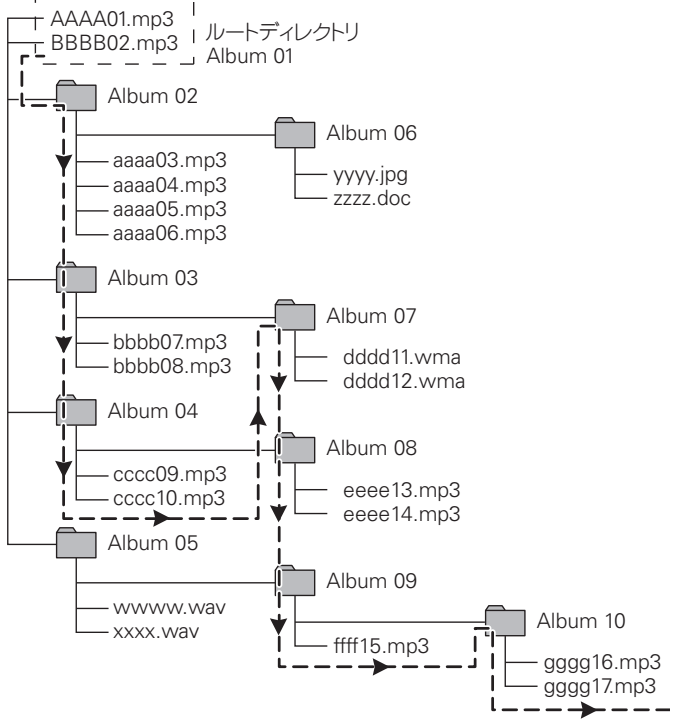
1 **“Auto Standby”を選び、[ENTER] を押す。**
ディスプレイに現在の設定されている状態を表示します。

- お買い上げ時の設定は“OFF” です。

2 **I◀◀、▶▶I を押して、“ON”または“OFF”を選ぶ。**
ON： Auto Standby モードを有効にします。
OFF：Auto Standby モードを無効にします。

3 **[ENTER] を押す。**
設定を保存します。

MP3 や WMA ファイルの再生

❏MP3 や WMA ファイルの再生順について

【例】

• 再生順番

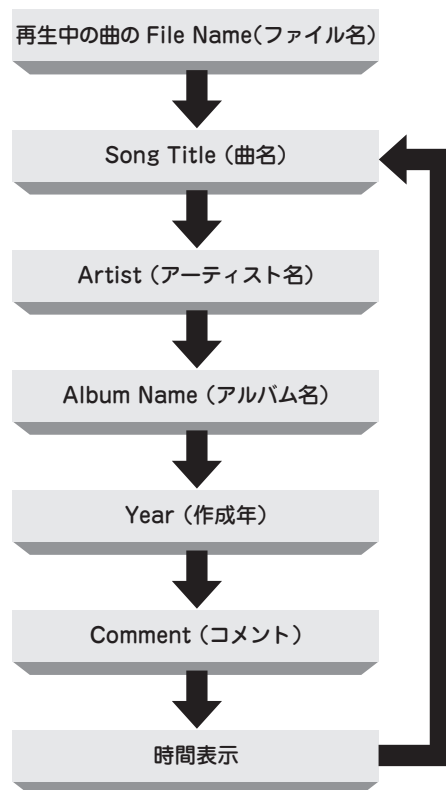
① AAAA01.mp3	⑧ bbbb08.mp3	⑮ ffff15.mp3
② BBBB02.mp3	⑨ cccc09.mp3	⑯ gggg16.mp3
③ aaaa03.mp3	⑩ cccc10.mp3	⑰ gggg17.mp3
④ aaaa04.mp3	⑪ dddd11.wma	
⑤ aaaa05.mp3	⑫ dddd12.wma	
⑥ aaaa06.mp3	⑬ eeee13.mp3	
⑦ bbbb07.mp3	⑭ eeee14.mp3	

• 停止中の表示

再生できるファイルの数

- 矢印付の点線(–➝–) は MP3/WMA のフォルダとファイルの再生順を示しています。
- MP3/WMA ファイルをルートディレクトリのすぐ下に記録した場合、これらのファイルをフォルダにまとめて記録した MP3/WMA ファイルよりも先に優先して再生します。
- フォルダ名、ファイル名による再生の優先順位は、数字→アルファベット大文字→アルファベット小文字の順です。
- Album05 と 06 のファイルは MP3/WMA ファイルではないため再生しません。
- 本機の再生順は、パソコンに表示される順番と異なる場合があります。またライティングソフトによって変わる場合があります。

❑テキスト情報の表示について

[TEXT] を押すたびに次のようにテキスト情報を切り替えて表示します。再生中は主に再生中のファイル情報を表示します。

- 英数字のみを表示します。
- ファイルに記録されているテキスト情報の種類は、ファイルの作成のしかたや作成ソフトによって異なります。記録されていないテキスト情報は表示しません。
- 停止中は、ディスク内の再生可能なファイル数のみを表示します。

ご注意

ファイルによっては、テキスト情報を表示しない場合があります。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 **ディスクトレイに、MP3 や WMA 形式の音楽ファイルが記録されている CD-R/RW ディスクを入れる（☞6 ページ）。**
ディスプレイの“MP3/WMA”表示が点灯します。

2 **[MENU] を押して“MP3/WMA Mode”を選び、“Cont. モード”または“Folder モード”を設定する（☞19 ページ）。**

再生中にフォルダやファイルを変える

【フォルダを変える場合】

[+, –] でフォルダを選び、**[ENTER]** を押す。

【ファイルを変える場合】

⏮, ⏭ でファイルを選ぶ。

ファイルの再生順は、本機に CD-R/RW ディスクを入れたときに、本機が自動的に設定します。詳しくは「MP3 や WMA のファイルの再生順について」（☞20 ページ）をご覧ください。

再生を停止する

■ を押す。

再生を一時停止する

❚❚ を押す。

“❚❚”表示が点灯します。

- 再生を再開するときは、もう一度 ❚❚ を押してください。

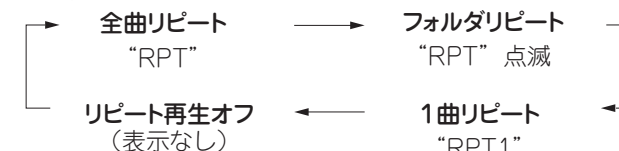
早送り / 早戻し（サーチ）をする

再生中に **[◀◀, ▶▶]** を長押しする。

- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

❑くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押して、リピートモードを選ぶ。

- **[REPEAT]** を押すたびに次のようにリピートモードを切り替えて表示します。

【選択できるモード】

モード	説明
全曲リピート “RPT”	：全曲をくり返して再生します。
フォルダリピート “RPT” 点滅	：1 つのフォルダ内の曲をくり返して再生します。
1 曲リピート “RPT1”	：1 曲のみをくり返して再生します。
リピート再生オフ（表示なし）	：通常の再生に戻ります。

❑指定した部分をくり返し再生する（A-B 間リピート再生）

1 **再生中に [A-B] を押して、開始点（A）を指定する。**
ディスプレイの“A-”表示が点灯します

2 **もう一度 [A-B] を押して、終了点（B）を指定する。**
ディスプレイの“B”表示が点灯し、A-B 間をくり返し再生します。
- 通常の再生に戻すときは、**[A-B]** を押して“A-B”表示を消灯させてください。

ご注意

- ランダム再生中、A-B 間リピート再生はできません。
- ファイルのビットレートが低いほど、B 点の設定がしにくい場合があります。

ご使用になる前に
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
用語の解説
故障かな？と思ったら
保証と修理について
主な仕様
索引

❏順不同に再生する（ランダム再生）

停止中または再生中に [RANDOM] を押す。
“RNDM”表示が点灯し、ランダム再生をはじめます。

ランダム再生を止める

ランダム再生中に ■ または **[RANDOM]** を押す。
ディスプレイの“RNDM”表示が消灯します。

ランダム再生中に **[REPEAT]** を押すと、1 曲または全曲でランダム再生します。
- 全曲リピート：現在再生中のランダム再生のあとに、違う曲順でランダム再生をします。全曲リピートモードを解除するまでこの動作をくり返します。
- 1 曲リピート：再生中の曲をくり返し再生します。

ご注意

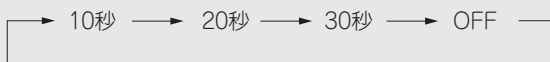
電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開いたりすると、ランダムモードを解除します。

❏聴きたいファイルを探す（AMS 再生）

1 曲目から順番にすべての曲の先頭部分を次々に再生します。
聴きたい曲を探すときに便利です。
（AMS 再生 : オートミュージックスキャン再生 ）

1 停止中または再生中に [AMS] を押す。
ディスプレイの“▶”表示が点滅して、AMS 再生をはじめます。

2 [AMS] を押して、再生時間を設定する。

- **[AMS]** を押すたびに、次のように AMS 再生の時間が切り替わります。

3 聴きたい曲が見つかったら、▶ を押す。
- “▶”表示が点灯に切り替わり、通常の再生に戻ります。
- AMS 再生中に **[RANDOM]** を押すと、AMS 再生は解除され、ランダム再生になります。

ご注意

メニューの“MP3/WMA Mode”（☞19 ページ）で設定している範囲を AMS 再生します。

用語の解説

M

MP3（MPEG Audio Layer-3）
音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。
映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。
音楽CDレベルの音質を保ったまま、約1/11のデータ容量に圧縮しています。

W

WMA（Windows Media Audio）
米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコード（符号化）することができます。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。
もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

さ

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

は

ビットレート（Bit rate）
ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビットのデータを処理したかを表わします。

その他

❑CD-R/CD-RWディスクの再生について

本機では従来のオーディオCDやCD-Rに加え、CD-RWディスクの再生も可能です。

- 本機は音楽CDフォーマット、またはMP3/WMAの音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- CD-RやCD-RWの再生には必ずTOC* が正しく記録されていることが必要です。CDレコーダーではTOC情報を書き込むことをファイナライズといい、この作業が正常に完了していないディスクは、通常のCDプレーヤーでは音楽CDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくは、CDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
  * TOC（トック）とは、"Table Of Contents"の略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。
- 再生できるのは音楽用のCD-DAフォーマットまたはMP3/WMAの音楽データで記録されたディスクのみです。その他のデータが記録されたディスクは再生しないでください。
- CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、音楽CDやCD-Rに比べTOCの読み込みに時間がかかることがあります。

❑MP3/WMAファイルの再生について

本機はMP3（MPEG Audio Layer3）またはWMA（Windows Media Audio）ファイル形式で記録されたデータファイルをCD-R、CD-RWに書き込んだディスクでの再生が可能です。
また、MP3のID3タグに対応しており、ID3タグ情報が記録されているファイルではトラックタイトル、アーティスト名、アルバムタイトルなどを表示することができます。

- Windows Media，Windowsは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 本機で対応している規格は"MPEG-1 Audio Layer-3"（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の"MPEG-2 Audio Layer-3"、"MPEG-2.5Audio Layer-3"およびMP1、MP2などには対応していません。
- 一般にビットレートが高いほど音質が良くなります。
  MP3の対応ビットレートは32～320 kbps、WMAは64～160 kbpsです。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3/WMAのご使用をおすすめします。
- MP3/WMAファイルには必ず拡張子".MP3"".WMA"を付けてください。".MP3"".WMA"以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
- プレイリストには対応していません。
- ディスク1枚あたりの再生出来るファイル数は最大255で、フォルダ数は最大255です。
- 本機は32文字までのフォルダ名やファイル名を表示できます。
- 本機は、MP3 ID3タグに対応しています。
- MP3を再生した時に表示されるID3タグ情報やファイル名のテキスト情報は日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。
- 可変ビットレートファイルの再生時には、正しく時間表示されないことがあります。
- CD-RやCD-RWに書き込むフォーマットはISO9660モード1またはモード2で書き込みをしてください。また、マルチセッションに対応していますので、追加で書き込みしたデータの再生もできます。
- パケットライトで記録されたMP3/WMAファイルは再生できません。
- 記録したデータの状態によっては曲情報を読み取るのに時間がかかる場合があります。
- 音楽用のフォーマットCD-DAとMP3/WMAファイルが混在したエンハンスドCDおよびミックスCDは、音楽用のフォーマットCD-DAのみ再生します。
- WMA DRM（著作権保護）ファイルの再生には対応していません。

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか

❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、お近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティングの各営業所、または当社のサービスセンターにご連絡ください。

症　状	原　因	対　策	関連ページ
ディスクが回転しない	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	10
	• 本機の電源がオフになっている。	• 本機の電源をオンにしてください。	11
	• ディスクが正しい位置に入っていない。	• ディスクを正しくのせてください。	6
	• ディスクが裏表逆に入っている（ディスクのレーベル面が下になっている）。	• ディスクを正しくのせてください。	6
	• ディスクが汚れている。	• ディスクの記録面をきれいにしてください。	7
	• ディスクに傷がついている。	• 傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。	—
	• ディスクが反っている。	• ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。	—
ディスクは回転するが、音が出ない	• アンプやスピーカの接続が正しくない。	• ケーブル類を正しく接続してください。（詳しくはアンプの取扱説明書をご覧ください。）	—
	• アンプの電源がオフになっている。	• アンプの電源をオンにしてください。（詳しくはアンプの取扱説明書をご覧ください。）	—
	• アンプのファンクションまたは入力ソース選択スイッチが“CD”または“AUX”など（本機と接続した端子）に切り替えられていない。	• アンプのファンクションまたは入力ソース選択スイッチを“CD”または“AUX”など（本機と接続した端子）に切り替えてください。（詳しくはアンプの取扱説明書をご覧ください。）	—
	• アンプの音量が最小になっている。	• アンプの音量を調節してください。（詳しくはアンプの取扱説明書をご覧ください。）	—
再生中にディスプレイが点灯しない	• サウンドモードの設定が“Audio EX2”になっている。	• サウンドモードの設定を“Audio EX OFF”または“Audio EX1”に設定してください。	17

症　状	原　因	対　策	関連ページ
ディスクが途中で回転しなくなり、止まる	• ディスクが汚れている。	• ディスクの記録面をきれいにしてください。	7
	• ディスクに傷がついている。	• 傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。	—
	• ディスクが反っている。	• ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。	—
	• 再生しているディスクが音楽用の CD ではない。または MP3/WMA ファイルが記録されたディスクではない。	• パソコン用の CD-ROM などは再生できません。	20
リモコン操作ができない	• 本機とリモコンの間の距離が遠すぎる。	• 本機に近づき、操作範囲内で操作してください。	7
	• 本機とリモコンの間に障害物がある。	• 障害物を取り除いてください。	7
	• リモコンの電池が切れている。	• 電池をすべて新しいものに取り替えてください。	7
	• 本機のリモコン受光部に強い光が当たっている。	• 本機のリモコン受光部に強い光が当たらないように設置してください。	7
	• 本機の EXTERNAL/INTERNA スイッチが“EXTERNAL”になっている。	• 本機のみを使用する場合は、スイッチを“INTERNAL”にしてください。	15
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない	• ディスクが裏表逆に入っている（ディスクのレーベル面が下になっている）。	• ディスクを正しくのせてください。	6
	• 記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットではない。または MP3/WMA ファイルが正しく記録されていない。	• 本機に対応した正しい情報を記録してください。	20
ピッチコントロール操作ができない	• サウンドモードが“Audio EX OFF”に設定されていない。	• サウンドモードを“Audio EX OFF”に設定してください。	17
デジタル音声出力ができない	• デジタル音声出力設定が“Off”になっている。	• デジタル音声出力設定を“On”にしてください。	19
	• サウンドモードの設定が“Audio EX2”になっている。	• サウンドモードの設定を“Audio EX1”にしてください。	17
	• サウンドモードの設定が“Audio EX OFF”になっており、ピッチコントロールを使用している。	• ピッチコントロール設定を“0”に設定してください。 • または、サウンドモードの設定を“Audio EX1”にしてください。	17

保証と修理について

❏保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…………取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号………保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏ オーディオ特性

- **チャンネル：** 2 チャンネル
- **再生周波数範囲：** 2Hz～20kHz
- **ダイナミックレンジ：** 100dB
- **SN 比：** 110dB
- **チャンネルセパレーション：** 110dB（1kHz）
- **高調波歪率：** 0.002%（1kHz）
- **ワウ・フラッター：** 水晶精度
- **音声出力：** 2.25V RMS ステレオ
- **ヘッドフォン出力：** 18mW/32 Ω（可変最大）
- **デジタル出力**
  - **同軸出力（ピンジャック）：** 0.5Vp-p、75 Ω
  - **光出力（角型光コネクター）：** -19dBm

❏ 光学読み取り方式

- **レーザー：** AlGaAs 半導体
- **波長：** 780nm

❏ 信号方式

- **サンプリング周波数：** 44.1kHz
- **量子化対応：** 16 ビット・リニア PCM

❏ 電源部

- **電源：** AC 100V、50/60Hz
- **消費電力（電気用品安全法）：** 14W
- **待機消費電力：** 0.4W

❏ キャビネット・その他

- **付属品**
  - **リモコン：** 1 個
  - **単 4 形乾電池：** 2 本
  - **電源コード：** 1 本
  - **音声ケーブル（赤・白）：** 1 組
  - **リモート接続ケーブル（オレンジ）：** 1 本
- **最大外形寸法**
  - **幅：** 440mm
  - **高さ：** 104.5mm
  - **奥行き：** 339.5mm
- **質量：** 5.1kg
- **許容動作温度：** ＋ 5℃ ～ ＋ 35℃
- **許容動作湿度：** 5～90%（結露のないこと）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

☞ 英数

☞ あ

☞ か

☞ さ

☞ た

☞ は

☞ ら